

いわき市里山の暮らしを支える地域づくり方針

1 取組方針の概要

中山間地域は、市街地と比べて地理的、社会的な諸条件が不利な地域であるため、人口減少や少子高齢化等の影響により、今後、日常生活を維持していくことさえもが一層危ぶまれる状況となっていくものと考えられる。

中山間地域を維持していくことの重要性を市全体で共有するとともに、当該地域の一次生活圏のセーフティネットを確保して地域力の維持・強化を図り、もって市民の皆様が安全に安心していきいきと住み続けることができる地域社会の実現を目的として、令和4年度に「里山の暮らしを支える地域づくり方針」を策定。

「里山の暮らしを支える地域づくり方針」

中山間地域の課題に対応した事業を取りまとめ、一元的に管理して事業間の調整を図り、より効率的な施策を展開して実効性を高めていく。

将来像	つながり、つなぐ、恵み豊かないわきの里山 ～愛着や誇りを持ち続け、安全に安心していきいきと住み続けられる地域社会の実現～
目標	つながりをつくる安全・安心な暮らし 里山の恵みと文化の維持・継承
方針	1. 暮らしを支えるまちづくり（重点的に推進） 2. 暮らしを支えるひとづくり 3. 暮らしを支えるしごとづくり

2 施策の全体構成

中山間地域の目標を達成するために、3つの方針を基に必要な取組みを進め、将来像の実現を図る。



3 中山間地域の課題に対応した施策（一部抜粋）

方針1 暮らしを支えるまちづくり

主な取組み

▶ 地域交通の確保

- ・鉄道、バス路線の維持・確保
- ・ボランティア輸送の継続・改善
- ・地域の輸送資源との共創による自家用有償旅客運送の検討
- ・地域とタクシー事業者等との共創による域内交通検討
- ・スクールバスの運行

▶ 日常の消費生活の確保（買い物支援）

- ・地域の支え合いの推進
- ・ネットショッピングの活用支援
- ・おつかいMaaS
- ・移動販売の情報収集、共有
- ・つどいの場等と移動販売のマッチング
- ・交通手段の確保

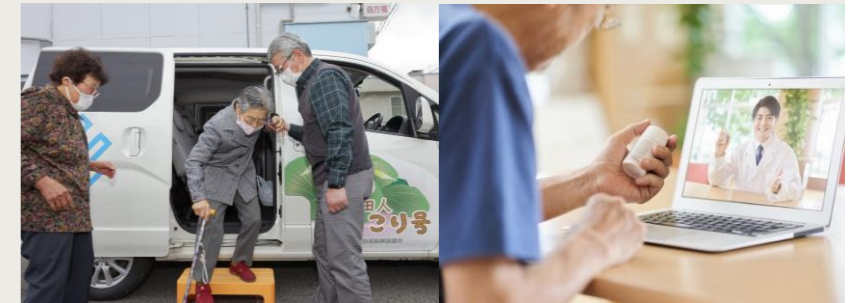
▶ 小さな拠点づくりの推進

- ・小さな拠点づくりの推進

「交通」、「医療」、「買い物」の支援と実施するための「担い手の確保」を重点的に推進。また、「小さな拠点」の形成を促す。

▶ 保健・医療・福祉の確保と充実

- ・医師不足の解消
- ・オンライン診療の調査研究
- ・ヘルスケアアプリ『HELPO』の普及促進
- ・交通手段の確保
- ・診療所の開設支援
- ・医療MaaSの調査研究
- ・小さな拠点づくりの推進
- ・地域の支え合いの推進



方針2 暮らしを支えるひとづくり

主な取組み

▶ 住民が主体的に活動する組織の支援

- ・まち・未来創造支援事業
- ・地域づくり構想の支援

▶ 継続的な人材確保と核となる人材の育成

- ・まちづくりを担う人材の育成
- ・集落支援員の活用
- ・特定地域づくり事業協同組合の検討
- ・公務員等の地域貢献活動

▶ 関係人口の創出、移住・定住の促進

- ・地域おこし協力隊の推進
- ・中山間地域のボランティア制度
- ・移住や二地域居住の取組みの推進
- ・空き家の利活用



取組みに係る財源

取組みを安定的・継続的に推進していくために、本市の中山間地域出身で、首都圏等で活躍され、ふるさとを応援したい方などから寄附を募り、財源として活用する仕組みも具体的に検討を進め、「恵み豊かないわきの里山」を将来につないでいく。

方針3 暮らしを支えるしごとづくり

主な取組み

▶ 農林業の振興

- ・農林業の振興
- ・農林業の担い手の確保
- ・農林業の経営体等への支援

▶ 地域資源を活用した産業振興・起業支援

- ・廃校等の利活用
- ・農産物直売所の支援
- ・地域おこし協力隊の起業支援
- ・再生可能エネルギー等の利活用による産業振興支援

▶ 地域の魅力を活かしたまちづくりと誘客の促進

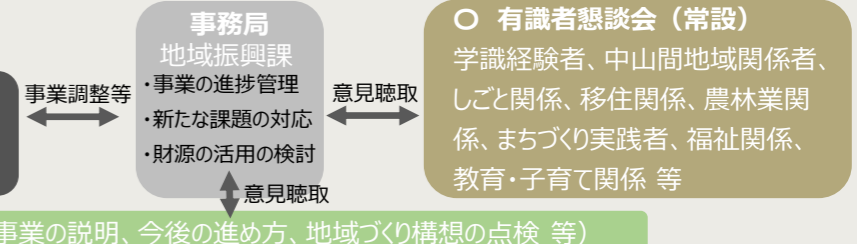
- ・交流人口の拡大
- ・地域おこし協力隊による魅力の発信
- 等



4 推進体制

○ 推進本部（新設）

市民協働部次長を部長とし、課等の長で組織する「推進本部」を設置、必要に応じて副市長を主宰者とする政策調整会議において議論



地区との意見交換（取組方針及び位置付け事業の説明、今後の進め方、地域づくり構想の点検等）